

もくぞうしゃかによらいざぞう
「木造釈迦如来坐像」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（彫刻） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田 1197 番地 2 智識寺
- 所 有 者 智識寺
- 概 要 材寄木造り、漆箔、彫眼（瞳黒彩）、白毫水晶
寸法：像高 158 cm、頂顎 58 cm、髮際～顎 33 cm、面幅 33.5 cm
面奥 39 cm、肩張 88 cm、胸厚 38 cm、胴張 102 cm
膝張 127 cm、膝奥 95 cm、坐高 25 cm
- 時 代 室町時代後期と推定
- 公 開 事前に智識寺（☎026-275-1120）に申し出て拝観してください

本像は銘文もなく、その造立年代が明らかではありませんが、螺髪が非常に小粒で、髮際波形で、眉の形、肩の張り方、特に衣文の構成と彫口などからみて、室町時代後期と考えられます。しかし釈迦如来像として像高 158.0 cm を数える大像で、その彫口も丹念です。

もともと、智識寺境内の端の弥勒堂に安置されていました弥勒菩薩が、何らかの都合により無くなり、代わりに安置されたものと伝えられています。

